

# まごころだより

2020年 12月号

今年にはコロナに振り回された1年になりました。感染症拡大の危険性が報じられ出したのは年が明けた早々ではなかったでしょうか。当時はそのウイルスがどのくらい恐ろしいものなのか想像もできなくて、専門家のコメントで理解するしかなかったように記憶しています。短い期間にどんどん広がっていき、その怖さを感じるのには誰もが知っている有名人が亡くなったことにより改めて思い知ることになるのですが、本当に危ないと理解したのでしょうか。今の現状をみると理解したのかどうか疑問に感じます。



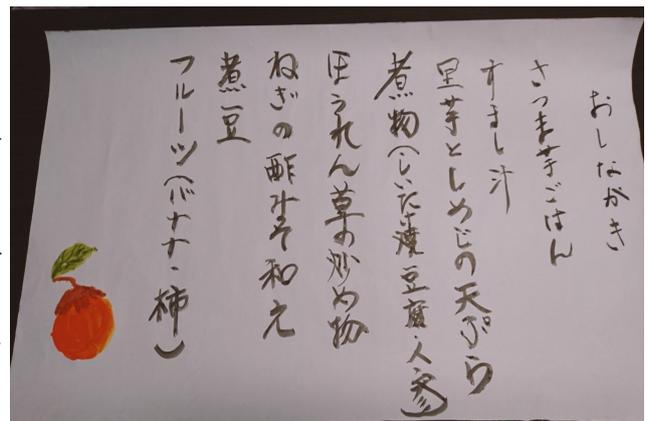
同時にもう一つ怖いと思ったのは、感染したり濃厚接触者になったりした人が差別を受けるようになったことです。なんの得があって誹謗・中傷をするのか、うっ憤を晴らすかのような行為が各地で行われ、気分が悪くなったのを覚えています。まさかと思ったのは、コロナ患者を受入れた病院の医師や看護師、病院に従事している方の家族にまで差別が及んだ事です。命を救おうとしている人達にどうしてそんな事ができるのか全く理解できません。あえて言うべきことではありませんが、どこでどんな形で感染するかも分からないウイルスに、もしその人が感染してしまったら、それも隔離どころか入院治療が必要になった時、頼りになるのが医療従事者の人達だと重々承知しておかなければならないと思います。



まごころでは、コロナによってイベントを全て中止にしました。以前は必ず月に3～4回のイベントを開いていました。利用者にしてみれば少なからず楽しみにされていたのですね、イベントが無くなって楽しみが減ってしまっ、つまらないという気持ちが残ってしまい面白くないのでしょうか。いくらコロナの説明をしても理解は望めませんでした。秋口に少し小康状態になったので、なんとかしなくてはと思い簡単なお茶

会、小さなお誕生会、外出気分でお弁当を、など少しでも利用者の方に楽しんでもらおうと、縮小した形ですがお楽しみ会を企画しました。それはそれで少しは楽しんで頂けたかと思っています。

最近コロナがまた拡大をみせています。当分は収まらないと承知してコロナに対処しなければなりません。皆様も十分に気をつけて対策して頂きたいと思います。もうすぐ年暮れ、そしてお正月ですが何事もなくお迎え下さい。まごころもコロナに負けず、利用者のために精一杯がんばってまいります。





姿勢を正して点てます



久しぶりで美味しい～



けっこう好きな味です



少し緊張して